
月額150円で着うたダウンロードし放題

小雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月額150円で着うたダウンロードし放題

【Nコード】

N4223F

【作者名】

小雨

【あらすじ】

ごめんなさい。着歌やってません。後書きが本編です。本文は適当に読み流して下さい。削除対象問題作品。

（前書き）

後書きが本編です。本文は適当に読み流してやって下さい。ちなみに本文は掌編小説（短い）です。

『異文化間の親交のススメ』論：N橋 鷹雄（日）。

本来論文と云う形式を借りるならば、英語やフランス、アラビア語等で書くのが常であるが（私は語学に疎く）他言語を習得していない、日本人を対象とした論の為、形を崩しての筆となった。

先刻、K連邦国エリア72地点で新型核兵器の実験が成功したとの一報を受けた。また、T合衆国は要塞ダモクレスから、K連邦国や（我が国である）合衆国日本を射程領域に含む（核兵器）『シャゴホット』の調整を最終段階へ進めた。これらが稼働可能となる日は近いであろう。永きに渡る一触即発の状態が遂に崩れようとしている。

さて、永年両国の緩衝国として機能してきた合衆国日本は、強大な武力を有した二国に対して有効な外交手段を有していない。最早両国に挟まれた日本が中立を保つ事は難しくなり、被害を最小限にする為には、より勝算のある側へ、本土への軍事拠点設置を黙認する他に手立てはない。

現在、瑞原外務大臣はK連邦と同盟を結ぶ方針としており、横浜自治区を中心として太平洋沿岸に軍事拠点を築く事を視野に入れている。

しかし、野党側はT合衆国と同盟を結び北陸州を拠点とする方が賢明と主張している。

理由は以下の通り。

現在の段階では、T合衆国の方が条約を締結した国や植民地が多く優勢であること。

経済水域・EEZを考慮した際に、広い地域の漁船や資源の安全が確保出来る為。

そして、私の最も核たる主張は、太平洋側には古来より日本と交流があったことがほぼ確定しているN諸島・G諸島が戦火にさら

される危険があるからである。そうすると、私が今回発見したモロ
ー遺跡をはじめとし、貴重な文化遺産の焼失も危惧される。

ところで、本題である。今回、私はモロー遺跡の発見から古来文
字の解読に成功し、旧大和人が如何にして隣国外交や異文化交流を
進めたか。また、これから合衆国日本はどのようにして……（中略）

……センソウヨクナイ……（中略）……。

……以上により、私は維新党の生田 浪太氏を支持するものであり、
今回の論文は国民の皆様には維新党支持を懇願するものであります。

（終）

（後書き）

9：02 pm N大学食堂にて。

N氏は学食の安いコーヒーをさも美味しそうにたしなむ。彼は、この大学で講師職に勤しみながら研究をしている。今日も窓ガラス越しの闇を見詰めながら、カフェインを嚙っていると珍しく、助手役を買ってくれているS氏が現れた。

軽く会釈をすると、木製のイスに腰を落として溜め息をつく。

「ふう… 今晚は……。先生も、大変ですね。日本も軍事政権が復活してから、随分と窮屈になりましたね……」

私が煙草をくわえると、どうぞとばかりに着火してくれる。

「ああ、この大学の財源は維新党が握っているから研究費用をこうやって請うしかないんだよ。自分の発見は二次、こうやっておけばとりあえず金は確保できる。笑えちゃうよ……」

S助手もまた、学食の安いコーヒーを飲んでいる。

「あの、新しいシステムにも参りましたよね……。インターネットでの論文公表も、アクセス数や閲覧数で支給額や昇格も影響するってのは……」

おかげで大学内では、ハッキングサークルやクラッカー取引が流行っちゃって」

遠くの方を見詰めて、N氏は言葉を放つ。

「日本が翳るのは早かった。改革というお遊びに未だに付き合われてるんだよ」

S氏が口に運んでいたコーヒーのカップを戻して思い立ったように訊く。

「ところで先生は、悩んでいた論文の題名、決めましたですか？
よりインパクトがある方がアクセス数を稼ぎやすいって仰ってましたよね……」

そうして、N氏は大真面目な顔で言うのであった。

「私も今回は凄い論文が書けた。私の永年の集大成にしようと思っていたし、PCの技術もさしてある訳ではないから、多くの人にアクセスして貰えるように、題名選びには気を遣ったよ。」

……先月一番アクセスのあったサイトの名前を頂いたんだ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4223f/>

月額150円で着うたダウンロードし放題

2010年10月9日13時45分発行